

7 相談支援業務の実態について

問12 平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)、平成27年度(4月～9月)の相談実人数・相談のべ人数を記入し、その相談経路を全て選択してください。

平成26年度

相談実人数		人	相談のべ人数		人
-------	--	---	--------	--	---

※平成27年度から事業を開始した機関は、平成26年度分は回答不要

平成27年度(4月～9月)

相談実人数		人	相談のべ人数		人
-------	--	---	--------	--	---

相談経路(該当するものを全て選択)

☐	相談者本人・家族
☐	知人・友人
☐	近隣住民
☐	民生委員・児童委員等地域関係者
☐	地域福祉コーディネーター等(保健・医療・福祉ネットワーク推進員含む)
☐	地域のボランティア活動者
☐	サービス提供事業者
☐	その他の相談支援機関
☐	貴機関が相談支援業務を行うなかで独自で発見、把握
☐	区保健福祉センター

その他(具体的に)

--

問13 平成26年度(平成26年4月から平成27年3月)、平成27年度(4月～9月)における個別ケース会議開催件数について、記入してください。

※なお、ここでの個別ケース会議は、本人の課題解決にむけて支援方針を各相談支援機関や事業所等の間で共有・決定するための会議とし、サービス支給決定等のための会議(サービス利用調整会議、支援調整会議等)は含みません。

個別ケース会議開催件数(のべ件数)	平成26年度		件
	平成27年度		件

※平成27年度から事業を開始した機関は、平成26年度分は回答不要

問14 問13のうち、複合課題を抱える世帯のケース等、他の施策分野(※)の相談支援機関等も参加したケース会議の開催件数について、記入してください。

※各相談支援機関等の施策分野については、本調査票の「1 回答者情報」を参考にしてください。

うち他の施策分野と連携した件数(のべ件数)	平成26年度		件
	平成27年度		件

※平成27年度から事業を開始した機関は、平成26年度分は回答不要

問15 個別ケース会議の開催時に、他の相談支援機関等に参加を依頼する際の状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) ☐ 他の相談支援機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない
- (2) ☐ 他の相談支援機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい
- (3) ☐ 繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある
- (4) ☐ その他(具体的に)

問16 個別ケース会議など、他の相談支援機関等と連携して支援を行う際の状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) ☐ 個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない
- (2) ☐ リーダーシップをとる機関がなく、役割分担ができない
- (3) ☐ リーダーシップをとる機関がなく、継続的にケース会議を開催する等の体制を構築できない
- (4) ☐ 他の相談支援機関との関係づくりができていないため、スムーズに連携できない
- (5) ☐ その他(具体的に)

問17 他の相談支援機関等と連携して支援を行う際に、必要であると感じているものについて、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) 本人、世帯全体に対する支援方針等の共有
- (2) 各相談支援機関等が実施している支援に関する情報の把握
- (3) 各相談支援機関等との関係づくり
- (4) 支援を行うにあたっての各相談支援機関等の明確な役割分担
- (5) 各相談支援機関間の連絡調整等を行う機能
- (6) その他(具体的に)

問18 様々な相談支援機関等が参加する定例の会議等(個別ケース会議は除く)について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 積極的に参加(開催)している 2 ある程度参加(開催)している 3 あまり参加(開催)していない 4 参加(開催)していない

回答欄

- (1) 区役所が開催する会議等(代表者会議等)
- (2) 区社会福祉協議会が開催する施設連絡会等
- (3) 他の相談支援機関等(上記以外)が開催する会議等
- (4) 地域が主催する会議等(地域社会福祉協議会の定例会等)
- (5) 貴機関が開催する会議等
- (6) その他(具体的に)

8. 他の相談支援機関との連携について

問19 日頃の相談支援業務を行ううえで、①連携する必要があると考えている他の相談支援機関等について、該当するものを全て選択してください。また、②実際に現在連携を行っている他の相談支援機関等について、該当するものを全て選択してください。(①→左のチェックボックス、②→右のチェックボックス)

①連携の必要
がある

②実際に連携
している

【高齢福祉関係】

☐	☐	地域包括支援センター
☐	☐	総合相談窓口(ランチ)
☐	☐	老人福祉センター
☐	☐	高齢者相談支援サポート事業
☐	☐	おおさか介護サービス相談センター
☐	☐	休日夜間福祉電話相談事業(休日夜間サポートライン事業)
☐	☐	介護保険サービス事業者(ケアマネジャー含む)

【障がい福祉関係】

☐	☐	基幹相談支援センター
☐	☐	障がい者相談支援センター
☐	☐	地域生活支援センター(生活支援型)
☐	☐	就業・生活支援センター
☐	☐	発達障がい者支援センター
☐	☐	大阪市こころの健康センター
☐	☐	大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター
☐	☐	身体障がい者相談員、知的障がい者相談員

【児童・ひとり親福祉関係】

☐	☐	地域子育て支援拠点事業
☐	☐	大阪市母子・父子福祉センター
☐	☐	大阪市ひとり親家庭サポーター
☐	☐	大阪市こども相談センター

【生活困窮者自立支援・就労支援関係】

☐	☐	生活困窮者自立支援機関
☐	☐	しごと情報ひろば
☐	☐	地域就労支援センター

【地域福祉・権利擁護関係】

☐	☐	見守り相談室
☐	☐	権利擁護相談支援サポートセンター事業
☐	☐	区社会福祉協議会
☐	☐	民生委員・児童委員、主任児童委員(民生委員児童委員協議会含む)
☐	☐	地域福祉コーディネーター等(保健・医療・福祉ネットワーク推進員含む)
☐	☐	その他の地域団体、地域活動者

【その他行政機関等】

☐	☐	医療機関
☐	☐	大阪市配偶者暴力相談支援センター
☐	☐	権利擁護相談支援サポートセンター
☐	☐	学校等教育機関
☐	☐	区保健福祉センター 生活支援担当
☐	☐	区保健福祉センター 保健業務担当(保健師・精神保健福祉相談員を含む)
☐	☐	区保健福祉センター 福祉五法業務担当
☐	☐	その他

(

)

以下、問20～22については、相談者を他の相談支援機関等につなぐ(つながれる)場合の対応等についてお聞きます。

問20 他の相談支援機関等に相談者をつなぐ際の対応について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よく行っている 2 行っている 3 あまり行っていない 4 行っていない

回答欄

- (1) ☐ 相談者に対し、他制度・他の相談支援機関等に関する情報提供を行う
- (2) ☐ つなぎ先の相談支援機関等へ連絡し、相談者の状況を伝える
- (3) ☐ つなぎ先の相談支援機関等まで、相談者に付き添う
- (4) ☐ つなぎ先の相談支援機関等に書類(インテークシート等)を提供し、相談者の状況を伝える
- (5) その他(具体的に)

問21 相談者を他の相談支援機関等につなぐ際の状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) ☐ 相談者の個人情報の取扱いが難しい
- (2) ☐ どのように相談者のニーズに対応できる相談支援機関を探したらよいか分からない
- (3) ☐ 他の相談支援機関等の役割・機能が複雑で分かりにくく、どこに連絡すれば良いか分からない
- (4) ☐ 相談者のニーズが複雑化・多様化しており、他制度・施策のどの相談支援機関等を紹介すれば良いか分からない
- (5) その他(具体的に)

問22 他の相談支援機関等から相談者をつながれる(紹介される)際の状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) ☐ 相談者に対する個人情報等、支援に必要な情報を収集することが難しい
- (2) ☐ 連絡なしでつながれる(相談者への情報提供のみ)
- (3) ☐ 他の相談支援機関等で対応する必要がある相談者をつながれる
- (4) ☐ 貴機関に対する誤った役割・機能等の情報が相談者に伝わっている
- (5) ☐ つながれた際の相談者に関する情報と相談者本人の話が異なる
- (6) その他(具体的に)

問23 本人やその世帯員が、複合的な課題を抱えている等、他の相談支援機関等からも支援を受けている場合における支援内容等の把握状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) ☐ 本人が過去に受けていた支援内容を把握する
- (2) ☐ 本人への支援内容を他の相談支援機関等から情報収集する
- (3) ☐ ケース会議等において、他の相談支援機関等と本人の支援内容を共有する
- (4) ☐ 本人のみではなく、その世帯員に対する支援内容についても把握する
- (5) その他(具体的に)

問24 本人のライフステージの変化により、本人が他の制度・施策の対象となる等、他の相談支援機関等へつなぐ必要がある場合の対応について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よく行っている 2 行っている 3 あまり行っていない 4 行っていない

回答欄

- (1) ☐ 相談者に対し、他制度・他の相談支援機関等に関する情報提供を行う
- (2) ☐ つなぎ先の相談支援機関等へ連絡し、相談者の状況を伝える
- (3) ☐ つなぎ先の相談支援機関等まで、相談者に付き添う
- (4) ☐ 次に支援を行うべき相談支援機関等とケース会議等を開催し、支援内容等の情報提供を行っている
- (5) その他(具体的に)

問25 問24のように、本人のライフステージの変化に応じた支援を行う際の状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) ☐ 次に支援を行うべき相談支援機関等が分からない
- (2) ☐ 次に支援を行うべき相談支援機関と支援方針について合意ができない等、調整に時間がかかる
- (3) ☐ 相談支援機関やサービス内容等の変更が必要であり、本人や家族の理解が得られにくい
- (4) ☐ 現状では、次に支援を行う相談支援機関等や提供できるサービスがない
- (5) その他(具体的に)

9. 地域との連携について

※ 以下の質問における「地域福祉活動」とは、「ふれあい喫茶」「いきいきサロン」「友愛訪問」等の地域住民の主体的な取組を指します。

問26 地域との関係づくりのために、日頃の業務の中で実施していることについて、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 積極的に行っている 2 ある程度行っている 3 あまり行っていない 4 行っていない

回答欄

- (1) 地域福祉活動への参加・協力
- (2) 地域の行事等への参加・協力
- (3) 地域住民等との協働による取組の実施(サロン等における専門相談の実施等)
- (4) 本人への支援を行う際に、地域住民等に対しケース会議への参加を依頼する
- (5) 区社会福祉協議会との連携・協力
- (6) 民生委員・児童委員、主任児童委員との連携・協力
- (7) その他(具体的に)

問27 地域との関係づくりを行う際の状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) 時間の制約等があることから、地域への働きかけを行うことが難しい
- (2) 地域福祉活動等を把握しておらず、本人への支援につなぐことが難しい
- (3) 本人に対する見守り活動等の依頼をしても、地域が本人の受け入れに消極的である
- (4) 地域のキーパーソンとなる人物がいない又は把握できていないため、地域との調整に時間がかかる
- (5) 地域との関係づくりの手法がわからない
- (6) その他(具体的に)

問28 地域福祉活動等に対する支援について、今後充実する必要があると考えられることについて、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 特に必要である 2 必要である 3 必要でない 4 全く必要でない

回答欄

- (1) 地域住民に対するボランティア活動への参加促進と支援
- (2) 地域福祉活動等への支援
- (3) 地域住民等を対象とした福祉教育の推進
- (4) 地域住民等に対する福祉施策や相談支援機関等に関する情報提供(研修会等の実施等)
- (5) 要支援者の家族等の支援者への支援(家族会等の組織化等)
- (6) その他(具体的に)

10. 本人の支援者(家族等)への支援について

問29 本人の支援者(家族等)への対応について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 積極的に行っている 2 ある程度行っている 3 あまり行っていない 4 行っていない

回答欄

- (1) 介護等の悩みごとについての相談に応じる
- (2) サービスや制度に関する相談に応じる
- (3) 介護技術等の研修会に関する情報提供を行う
- (4) 家族の会などの当事者団体や、インフォーマルサポート等を紹介する
- (5) 上記のような研修会の開催や当事者の組織化等を行う等、独自で取組を行っている
- (6) その他(具体的に)

問30 本人の支援者(家族等)への支援の状況について、該当する回答選択肢の数字を選択してください。

【回答選択肢】

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない

回答欄

- (1) 時間の制約等があることから、本人の支援者(家族等)への支援を行うことが難しい
- (2) 本人の支援者(家族等)に対する関わりは、本人に対するサービス提供時のみである等、限定的である
- (3) 本人の支援者(家族等)に対する公的制度・サービスがなく、対応に苦慮している
- (4) その他(具体的に)

11. その他

問31 日頃の相談支援業務を行うにあたって、このアンケート調査を通して、気付いた点等があれば記入して下さい。

問32 貴機関が独自に行っている取組があれば具体的に記入してください。
(他の相談支援機関等との連携、地域との協働による取組等)

問33 その他、何かご意見等ありましたらご記入下さい。

(相談支援業務を行うにあたっての課題と感じているもの、今後必要であると考えられること等)

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。